

- ▶ 住田町では、経営管理権集積計画の策定の可否等を検討するため、森林所有者に対する経営管理意向調査及び森林現況調査を実施。
- ▶ 本調査は、令和2年度から5か年かけて行うこととしており、令和4年度までに、664人、2,436haの意向調査、14,920haの航空レーザ測量、11,200haの森林資源解析を実施済み。4年目となる令和5年度は大股地区の森林が対象。

## □ 事業内容

### 経営管理意向調査及び森林現況調査の実施

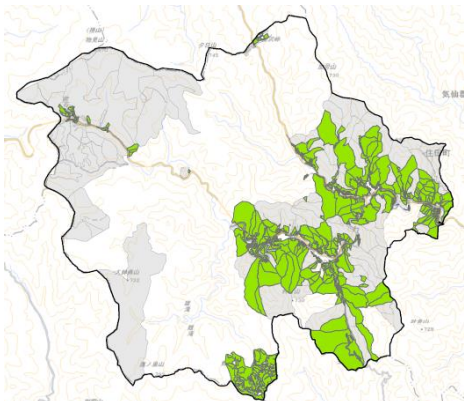
- ・ 大股地区の私有林（938筆、1,686ha）の所有者（174人）に対し、森林経営管理法に基づく経営管理意向調査を実施。
- ・ 森林現況調査として、同地区において航空レーザ測量（10,000ha）及び森林資源解析（9,500ha）を実施。

【事業費】 経営管理意向調査3,256千円、森林現況調査29,139千円  
（全額譲与税）

【実績】 意向確認所有者139人、意向調査面積1,541ha

## □ 取組の背景

- ・ 森林経営管理制度の推進に当たっては、基礎情報の収集を行っている段階であり、今後、森林所有者に対する森林の状態の周知、集約化による効率的な作業の提案、望ましい管理方法についての相談機会の設定を行う予定。



（令和5年度に実施した森林管理意向調査区域）

## □ 工夫・留意した点

- ・ 町内の森林は広大で、かつ所有者も多数に上ることから、本事業には多額の費用と膨大な事務量が伴うため、町内を5地区に分けて5か年で実施することにより、平準化を図っているところ。

## □ 取組の効果

- ・ 令和5年度までの実績は、意向調査の完了が私有林面積の67%、森林資源解析の完了が私有林面積の86%。森林所有者への森林の状態の周知等に先立ち、引き続き情報分析を進める。
- ・ 具体は未定ながら、航空レーザ測量により得られた地形データ等を防災や道路河川管理等の各分野で活用する方向で検討中。

## ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：40,054千円	②私有林人工林面積（※1）：5,304ha	
③林野率（※1）：89.5%	④人口（※2）：5,045人	⑤林業就業者数（※2）：77人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より